

全国納税貯蓄組合連合会 優秀賞

税で変える私たちの視点

豊岡中学校 三年 津田 藍花

私は改めて税について考えたとき、国民の三大義務の一つである納税の義務が頭に浮かびました。私の一番身近にある税では、消費税があります。他にどんな税があるか興味湧き、調べることにしました。

そこで「酒税」や「たばこ税」などある特定のものに対する税金があることを知りました。私はなぜ「酒税」や「たばこ税」が存在するのか気になり、より詳しく調べました。さまざまな記事を見て、これらの税がある理由を考えた結果、政府が国民に健康被害を及ぼすものを抑制していきたいからなのではないかと思いました。

私は今やめられずに困っていることがあります。それは、スマホの使用時間が長くなってしまいました。勉強をするときに調べるツールとしてスマホを利用することがとても多いです。しかし、スマホに触れると無意識に違うアプリを開き、勉強が捗らなくなってしまうことがあります。周りの友達にも、スマホの使用時間が七時間を超える人がたくさんいます。私はこのままでは私たち世代が将来ほとんど眼鏡をかけた生活になるのではないかと不安になりました。

そこで、私はこんな税があったら国民の暮らしがより良くなるのではないかと考えました。それは、「スマホ見過ぎ税」です。内容

は、五時間以上スマホを見た日数に応じて毎月税を課するというものです。私はこの税を国民に課したときの効果が二つほどあると考えます。一つ目は、一人一人がスマホを見る時間を気にするようになることです。もし、すぐ見たい動画があったとしても、次の日に見ようと思えるようになり、必然的にスマホと距離を置くことができると思うからです。二つ目は、スマホ以外のことには時間を使えるようになることです。スマホを使いすぎないようにするために、読書をしたり、家族と一緒にテレビを見て会話するような時間も増えるのではないかと考えました。私たちがスマホに縛られた生き方をするのではなく、自分で新たな趣味を見つけるために、「スマホ見過ぎ税」を課することを提案したいと思います。

私はこの作文を作成するにあたり、税に対する意識が変わりました。今までは、百円ショップなのになぜ百十円も払わなければならぬのだろうと思っていました。しかし、税金の使い道なども調べた結果、実際に国民を守るために税が存在しているということを知りました。税金の無駄使いという言葉を目にすることもありますが、他の人の意見に流されるのではなく、しっかりと中身を理解している大人になりたいと思いました。